



06



礼拜

BASE Is Biblical And Solid Essentials
WORSHIP

Introduction

序論



“

礼拝は
靈的成熟と
関連している。

-Alfred P.Gibbs

信仰年数は
礼拝の成熟度と
関係する

主がお望みの
礼拝者へと
整えられたい

AG DN DA

01

02

03

04

05

パン裂き礼拝重視の理由

パン裂き礼拝の意味

願いと贊美と礼拝の区別

群れの礼拝について

神がお求めの礼拝者の姿

Chapter 1

パン裂き札拝 重視の理由

Section 1-1

教会史から パン裂き札拝を 考える

ブラザレン

Section 1-2

聖餐式の考え方

パン裂き礼拝



聖餐式



ミサ

聖体 变化



聖體 拝領



Section 1-3

聖職者制度の出現



A.D.392

ローマ カトリック の 階層組織

教皇

Pope

枢機卿

Cardinals

大司教

Arch Bishops

司教

Bishops

司祭

Priests

助祭

Deacons

一般信徒

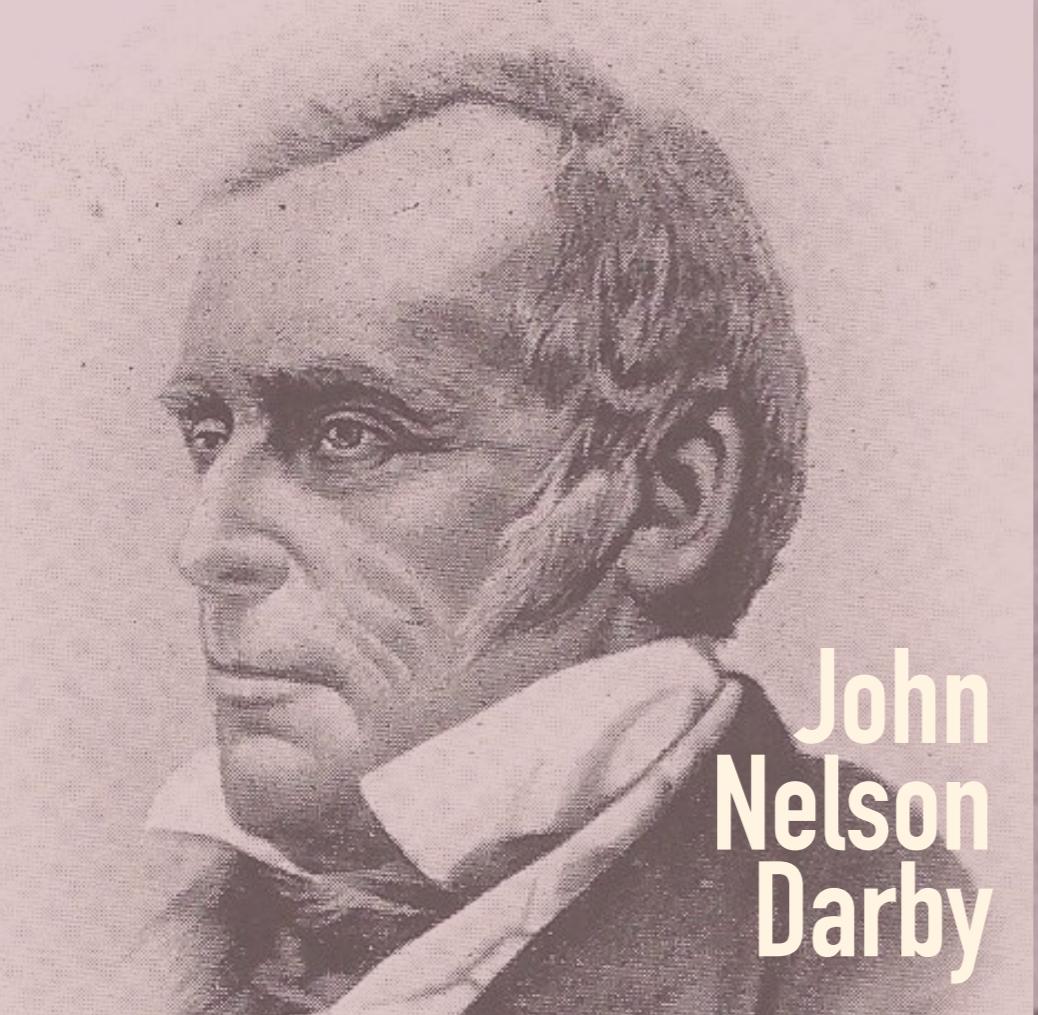
The Laity

告解

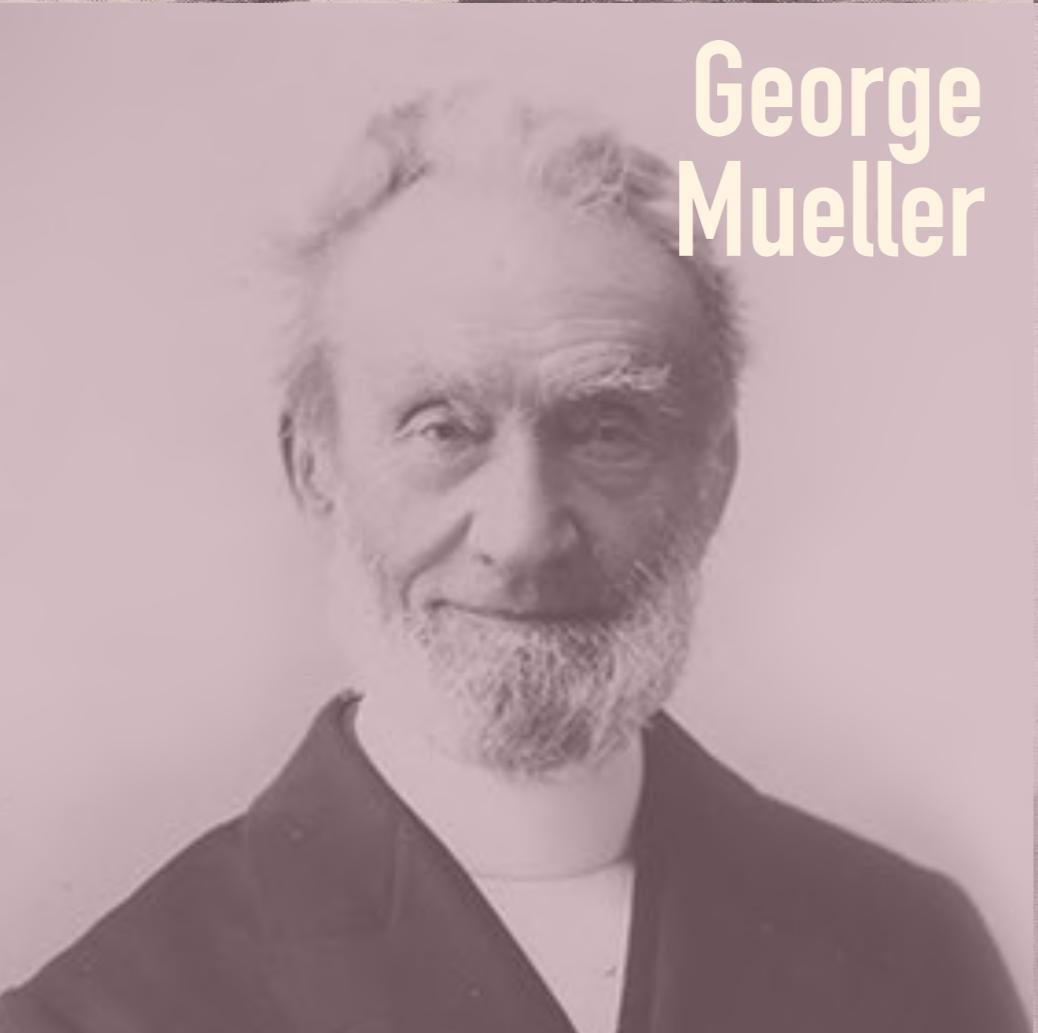


Section 1-4

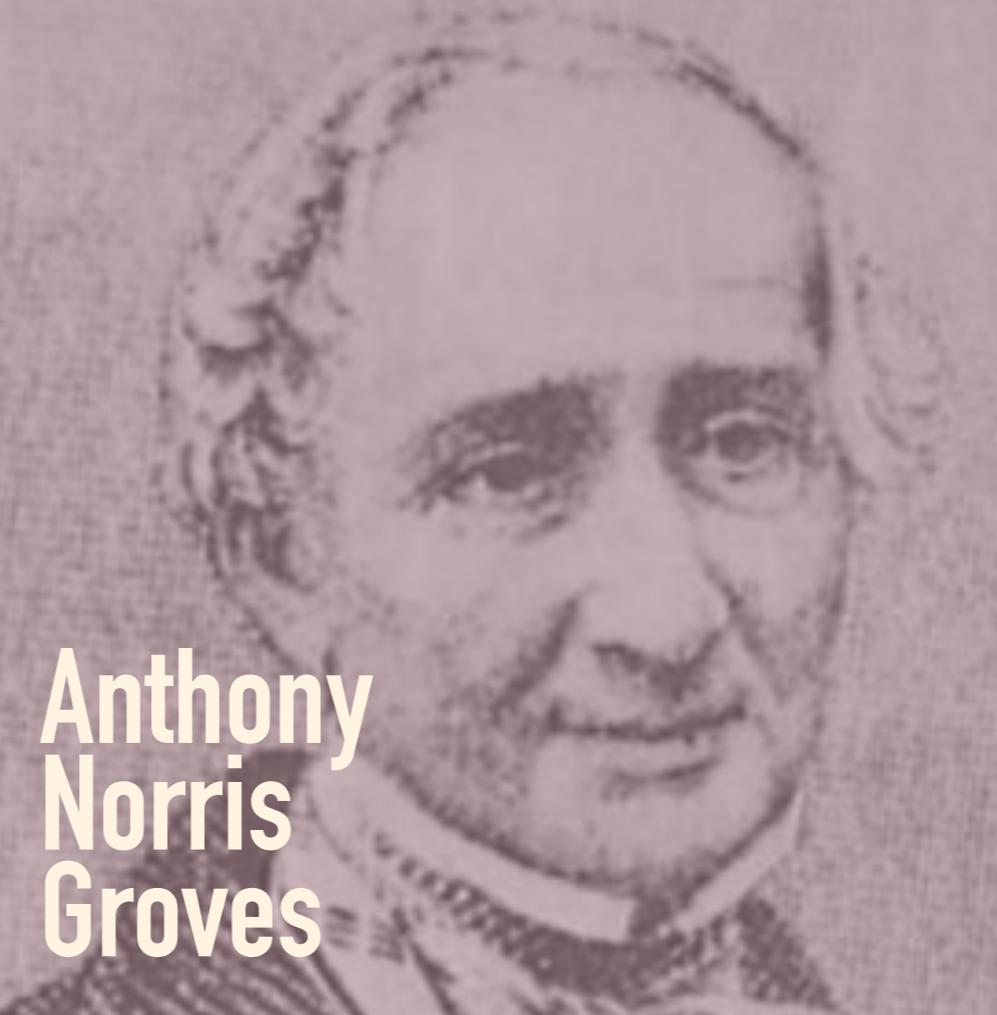
聖職者制度からの脱却



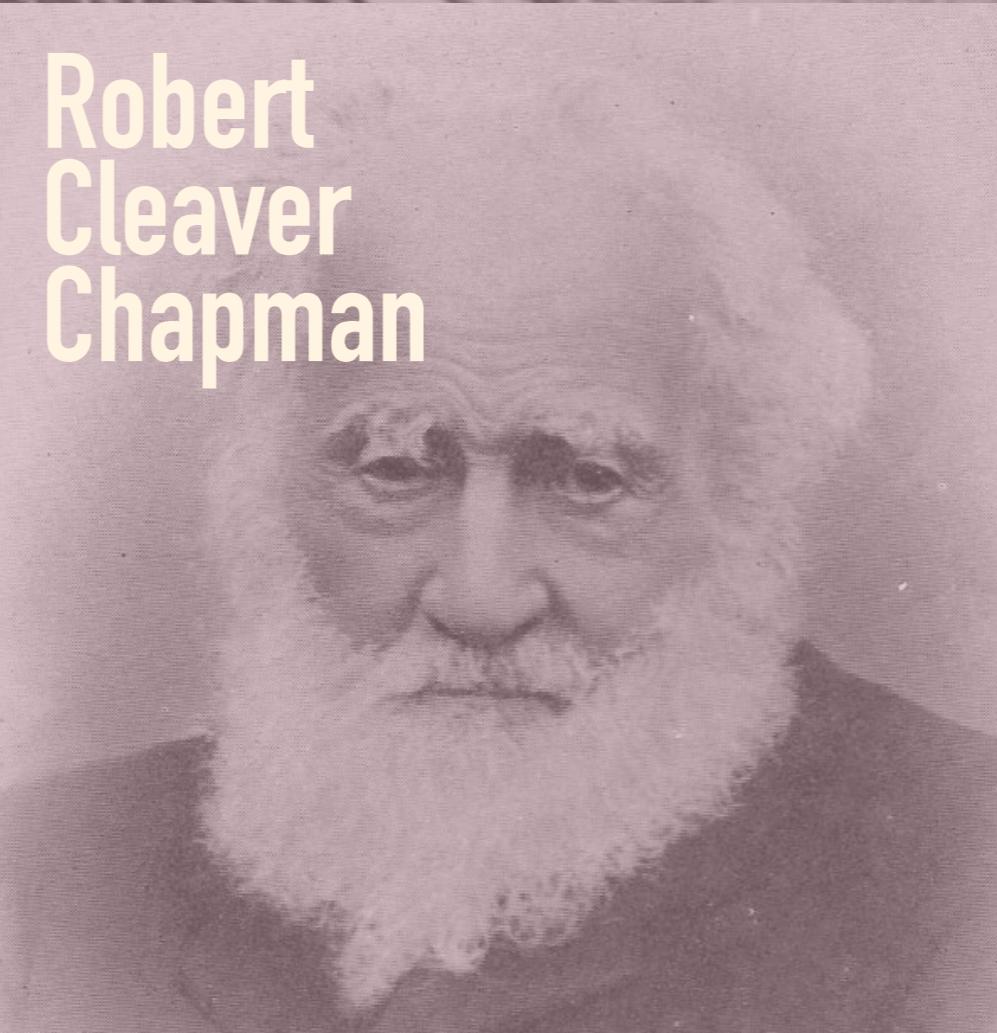
John
Nelson
Darby



George
Mueller



Anthony
Norris
Groves



Robert
Cleaver
Chapman

A.D.
1827

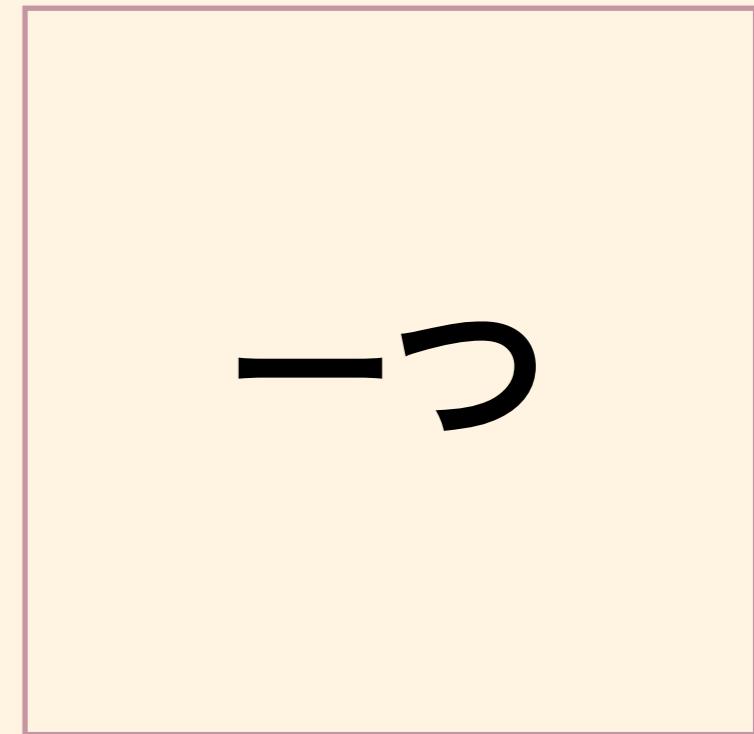
キリストによって
神とつながる

Section 1-5

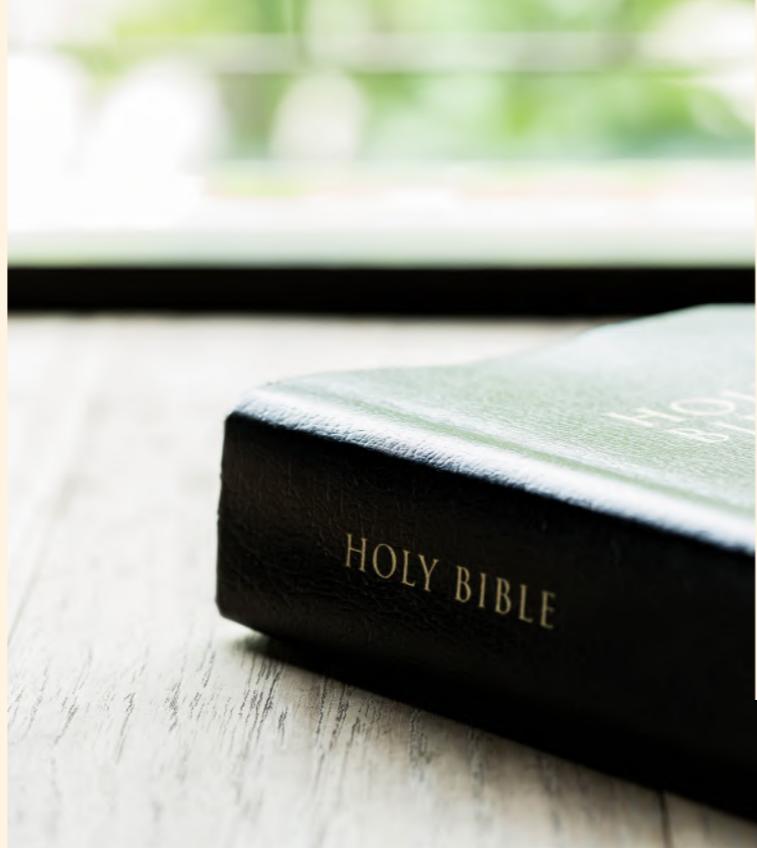
ブラザレンの特徴

パンは一つですから、
私たちは大勢いても、
一つのからだです。
皆がともに
一つのパンを
食べるのですから。

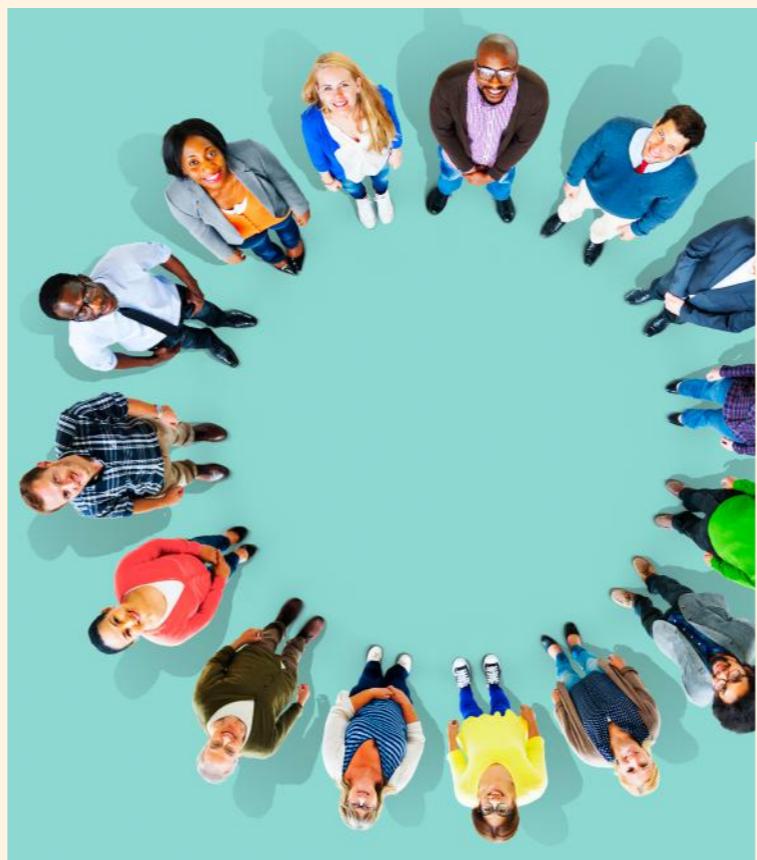
1コリント 10:17



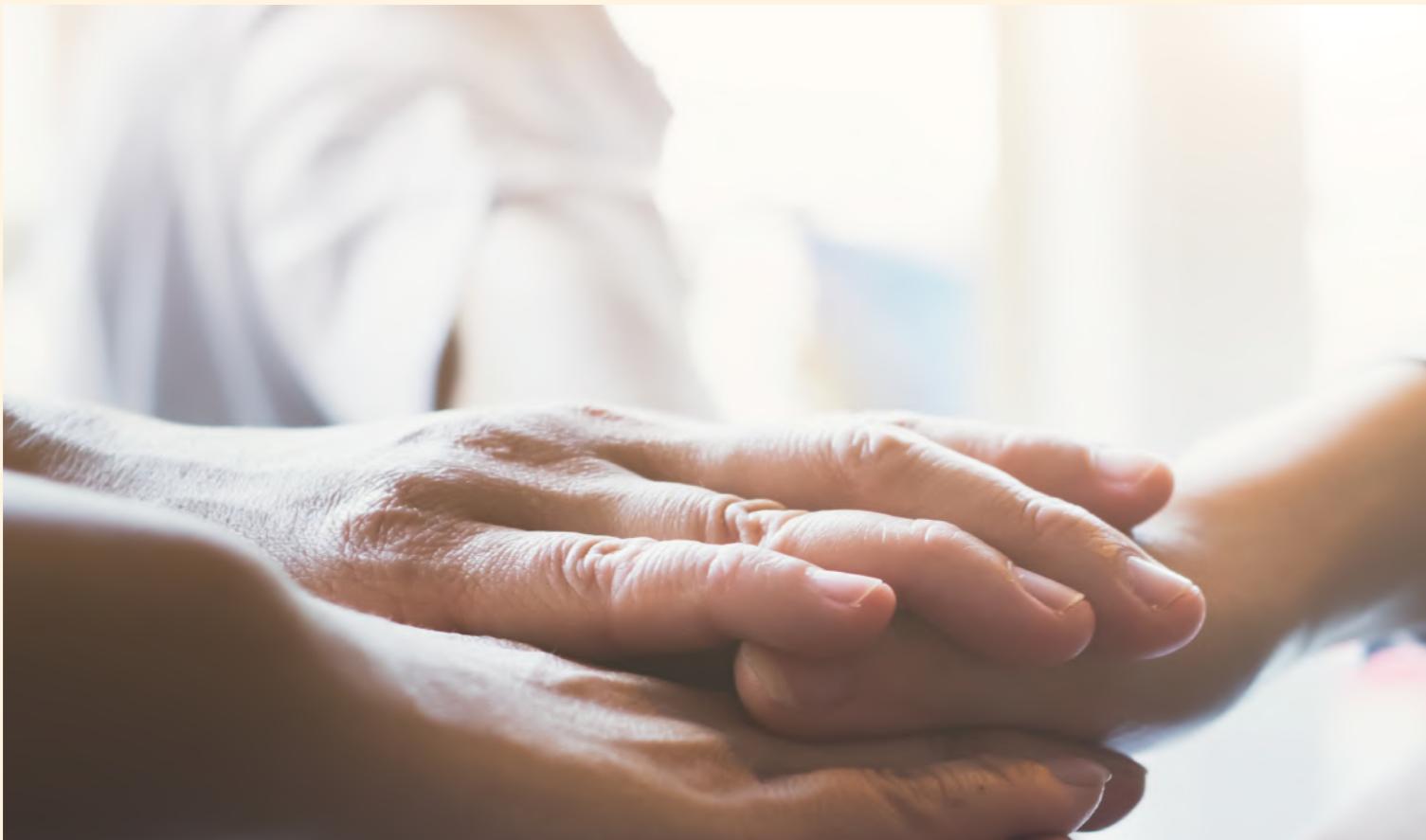
信仰 義認



権威は 聖書だけ



全信徒 祭司



兄弟

調和

Section 1-5

第1章のまとめ

パン裂き札拝を
考えるために
教会史を
考える必要がある

パンと
ぶどう酒は
キリストを表す
象徴

聖職者制度の
出現による
靈的暗黒時代が
あった

諸集会の始まりは
聖職者制度からの
脱却だった

パン裂き札拌は
兄弟姉妹が
何の差別もなく
一つであることの
告白

Chapter 2

パン裂き札の 意味

Section 2-1

パン裂き札拌の ルーツ

私は主から受けたことを、
あなたがたに伝えました。
すなわち、
主イエスは渡される夜、
パンを取り、
感謝の祈りをささげた後それを裂き、
こう言われました。
「これはあなたがたのための、
わたしのからだです。
わたしを覚えて、
これを行いなさい。」

食事の後、
同じように杯を取って言われました。
「この杯は、
わたしの血による新しい契約です。
飲むたびに、
わたしを覚えて、
これを行いなさい。」

**ルーツは
主が実施した
過越の食事**

イエスは彼らに言われた。
「わたしは、
苦しみを受ける前に、
あなたがたと一緒に
この過越の食事をすることを、
切に願っていました。」

ルカ 22:15

[ルカ22:15]

切に
願って
いました

[文語訳]

望みに
望みたり

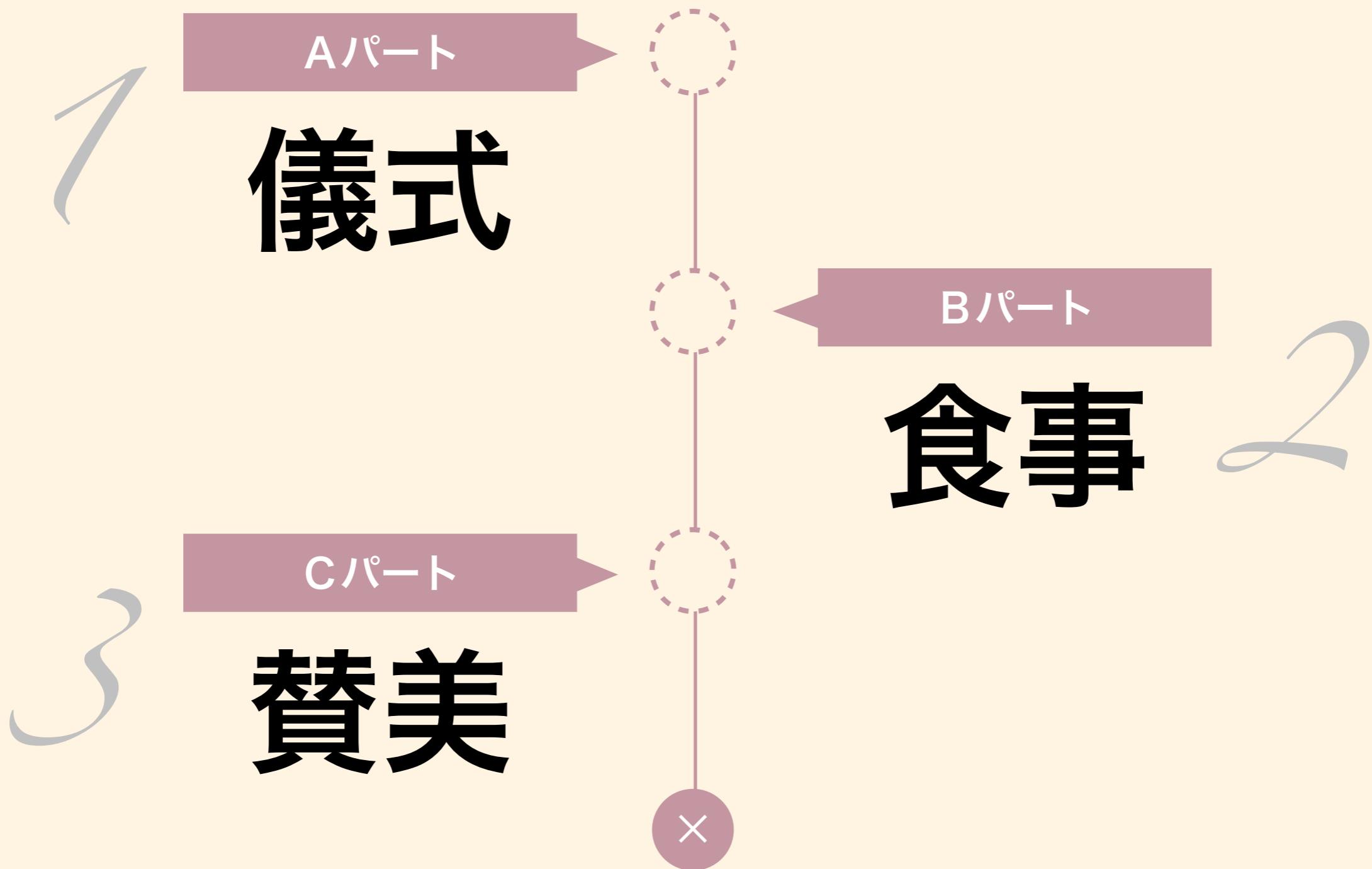
[KJV]

With desire
I have desired

Section 2-2

過越の食事の手順

逾越の食事 PESACH



A 儀式



燭台の蝋燭に火を灯す

1

A 儀式



第一の杯 「感謝の杯」 (ルカ22:14-17)

2

そしてイエスは杯を取り、
感謝の祈りをささげてから言われた。

「これを取り、
互いの間で分けて飲みなさい。」
(中略)

それからパンを取り、
感謝の祈りをささげた後これを裂き、
弟子たちに与えて言われた。

「これは、
あなたがたのために与えられる、
わたしのからだです。
わたしを覚えて、
これを行いなさい。」
食事の後、
杯も同じようにして
言われた。

ルカ 22:17-20

A 儀式



手を洗うきよめの儀式（ヨハ13:4-5）

A 儀式



第二の杯 「裁きの杯」

A 儀式



カルパスの儀式（マタ26:23）

イエスは答えられた。
「わたしと一緒に
手を鉢に浸した者が
わたしを裏切れます。」

マタイ 26:23

A儀式



アフィコーメンの儀式

A 儀式



三つに仕切られた袋のそれぞれの
スペースに種なしパンを入れる

6

A 儀式



袋の真ん中のパンを取り出す

6

A 儀式



取り出したパンを家長が二つに裂く

6

A儀式



二つに裂かれたパンの半分を
亞麻布にくるんで隠す

A 儀式



ハロセットとマロールを食べる
(ヨハ13:26-30)



イエスは答えられた。
「わたしがパン切れを
浸して与える者が、
その人です。」
それからイエスは
パン切れを浸して取り、
イスカリオテのシモンの子ユダに
与えられた。

ユダはパン切れを受けると、
すぐにして行った。
時は夜であった。

ヨハネ 13:30

B

食事



メインコースを食べて家族団欒



食事



食事の締めにアフィコーメンを食べる



B 食事



亞麻布に包まれ隠されていたパンが
人前に明らかにされる

9

これはわたしの
からだです

マタイ 26:26



食事



発見されたパンが更に裂かれ
参加者全員に振る舞われる

9

B 食事



第三の杯 「贖いの杯」

16

これはわたしの
契約の血です

マタイ 26:28

見よ、その時代が来る
——主のことば——。
そのとき、
わたしはイスラエルの家および
ユダの家と、新しい契約を結ぶ。
これらの日の後に、
わたしがイスラエルの家と
結ぶ契約はこうである
——主のことば——。
わたしは、
わたしの律法を彼らのただ中に置き、
彼らの心にこれを書き記す。

わたしの靈を
あなたがたのうちに授けて、
わたしの掟に従って歩み、
わたしの定めを
守り行うようにする。

エゼキエル 36:27

それを、神は私たちに
御靈によって啓示してくださいました。
御靈はすべてのことを、
神の深みさえも探られるからです。

1コリント 2:10-12

人間のことは、
その人のうちにある人間の靈のほかに、
いったいだれが知っているでしょう。
同じように、神のことは、
神の靈のほかにはだれも知りません。
しかし私たちは、
この世の靈を受けたのではなく、
神からの靈を受けました。
それで私たちは、
神が私たちに恵みとして
与えてくださったものを
知るのです。

賛美



第四の杯「賛美の杯」（マタ26:30）

14

贊美



最後の挨拶

13

イスラエルの全会衆に
次のように告げよ。
この月の十日に、
それぞれが一族ごとに羊を、
すなわち家ごとに
羊を用意しなさい。

出エジプト 12:3

**本質がないと
形骸化する**

Section 2-3

第2章のまとめ

パン裂き札拝の
ルーツは
ユダヤ文化における
過越の食事

パンは
主の
復活のからだを
表す

杯は
新しい契約のための
血を表す

パン裂き札拌は
主のいのちに
あふれた
喜びの集会

Chapter 3

願いと賛美と 礼拝の区別

Section 3-1

願いとは

心が
「必要」に
向かうこと

Section 3-2

贊美とは

心が
「祝福」に
向かうこと

Section 3-3

礼拝とは

心が
「神」に
向かうこと

Section 3-4

第3章のまとめ

礼拝とは
主に感動した思いを
主にお伝えする
自発的なもの

Chapter 4

群れの礼拝 について

Section 4-1

成熟した 群れの礼拝とは

また、歌い手であるレビ人全員、
(中略)

亞麻布を身にまとい、
シンバル、琴および豎琴を手にして
祭壇の東側に立ち、
百二十人の祭司たちも
彼らとともにラッパを吹き鳴らしていた。
ラッパを吹き鳴らす者たち、
歌い手たちが、
まるで一人のように
一致して歌声を響かせ、

主を賛美し、ほめたたえた。
そして、ラッパとシンバルと
様々な楽器を奏でて声をあげ、
「主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで」
と主に向かって賛美した。
そのとき、雲がその宮、
すなわち主の宮に満ちた。
祭司たちは、その雲のために、
立って仕えることができなかつた。
主の栄光が
神の宮に満ちたからである。



Section 4-2

**兄弟は
礼拝のために
準備する**

礼拝は具体的に

行動原理は愛

それでは、
どうすればよいのでしょうか。
私は靈で祈り、
知性でも祈りましょう。
靈で賛美し、
知性でも賛美しましょう。

そうでないと、
あなたが靈において贊美しても、
初心者の席に着いている人は、
あなたの感謝について、
どうしてアーメンと言えるでしょう。
あなたが言っていることが
分からぬのですから。
あなたが感謝するのはけっこうですが、
そのことでほかの人が
育てられるわけではありません。

Section 4-3

**姉妹も
礼拝のために
準備する**

**神は心の声を
聞いておられる**

Section 4-4

第4章のまとめ

成熟した
群れの礼拝には
調和がある

聞く人に
配慮して礼拝する

群れの礼拝が
豊かになるためには
兄弟姉妹各人の
準備が必要

Chapter 5

神がお求めの 礼拝者の姿

Section 5-1

**神がれ挙者を
求めておられる**

しかし、
まことの礼拝者たちが、
御靈と真理によって
父を礼拝する時が来ます。
今がその時です。
父はそのような人たちを、
ご自分を礼拝する者として
求めておられるのです。



すべてはあなたから出たのであり、
私たちは御手から出たものを
獻げたにすぎません。

Section 5-2

神がお求めの 礼拝者とは



私たちの先祖は
この山で礼拝しましたが、
あなたがたは、
礼拝すべき場所はエルサレムにある
と言っています。」
イエスは彼女に言われた。
「女人よ、
わたしを信じなさい。
この山でもなく、
エルサレムでもないところで、
あなたがたが父を礼拝する時が来ます。
(中略)

しかし、まことの礼拝者たちが、
御靈と真理によって
父を礼拝する時が来ます。
今がその時です。
父はそのような人たちを、
ご自分を礼拝する者として
求めておられるのです。

ヨハネ 4:20-21,23



すると、
主は彼に言われた。
「なるほど、
あなたがたパリサイ人は、
杯や皿の外側はきよめるが、
その内側は強欲と邪悪で
満ちています。」



共通のいのち

共通のことば

Section 5-3

**礼拝は礼拝者を
祝福する**

いちじくの木は花を咲かせず、
ぶどうの木には実りがなく、
オリーブの木も実がなく、
畠は食物を生み出さない。
羊は困いから絶え、
牛は牛舎にいなくなる。









しかし、
私は主にあって喜び躍り、
わが救いの神にあって楽しもう。
私の主、神は、私の力。
私の足を雌鹿のようにし、
私に高い所を歩ませる。

ハバクク 3:18-19

Section 5-4

第5章のまとめ

**御靈と真理によって
礼拝する**

礼拝者は
神を喜ぶ喜びの中に
入っていくことが
できる

Whole Summary

全体まとめ

Summary Of Introduction

序論のまとめ

礼拝は
靈的成長度合いと
関係がある

Chapter 1 Summary

第1章 パン裂き札拝 重視の理由 のまとめ

パン裂き札拌は
兄弟姉妹が
差別なく一つ
という告白

Chapter 2 Summary

第2章 パン裂き札拌の意味 のまとめ

パン裂き札拝は
いのちの躍動がある
喜びの集会

Chapter 3 Summary

第3章 願いと賛美と 礼拝の区別 のまとめ

**礼拝は
自発的なもの**

Chapter 4 Summary

第4章 群れの礼拝について のまとめ

群れの礼拝の
豊かさは
各人の準備に
かかっている

Chapter 5 Summary

第5章 神がお求めの 礼拝者の姿 のまとめ

神がれし拝者との
交わりを
求めておられる

EOF

- 参考資料

A・P・ギブス『礼拝 クリスチャンの最高の任務』伝道出版社、1960年

『主の晩餐 パン裂き』牧草社、1998年

J. Boyd Nicholson 『See the Difference (between the Lord's Supper and the Lord's Table)』 UPLook Articles、2004年

ルース・スペクター・ラセール『ユダヤの祭り』岐阜純福音出版会、1997年

- 改版履歴

2016年7月 初版

2018年6月 改版

2019年8月 改版

2019年9月 改版

2019年12月 改版

2020年1月 改版

2020年2月 改版

2020年9月 改版

2020年10月 改版
